

平成22年度 全国獣医師会事務・事業推進会議の開催

平成22年度全国獣医師会事務・事業推進会議が、平成22年7月9日、ホテルフロラシオン青山 3階「孔雀」にて、全国55都道府県市獣医師会の担当役員・事務局職員出席のもと開催された。

本会議では、説明・報告事項が行われた後、公益認定申請実務研修として、「地方獣医師会が公益認定申請を行うに当たり留意すべき事項」を検討テーマに既に公益認定を受けた地方獣医師会（新潟県獣医師会、大阪市獣医師会）による研修講義と質疑応答が行われた（本会議の議事概要は下記のとおり）。

平成22年度 全国獣医師会事務・事業推進会議の概要

I 日 時：平成22年7月9日(金) 13:30～17:30

II 場 所：ホテルフロラシオン青山 3階「孔雀」

III 出席者：

- 1 全国55都道府県市獣医師会
担当役員・事務局職員：134名
- 2 日本獣医師会
会 長：山根義久
専 務 理 事：大森伸男
事務局職員：14名

IV 議 事：

【説明・報告事項】

1 日本獣医師会説明事項

- (1) 平成22年度事業計画
- (2) 「日本獣医師会・獣医師会活動指針」の制定
- (3) 宮崎県下における口蹄疫発生対応等
- (4) 獣医学術学会事業関係
ア 今後における学会組織及び事業運営のあり方
イ 獣医学術学会年次大会・同地区学会の開催
- (5) 獣医学術講習会研修会事業
(平成22年度は、基本的には獣医療提供体制整備推進総合対策事業として実施)
- (6) 日本獣医師会獣医師生涯研修事業
- (7) 獣医事動物福祉愛護等普及啓発事業（2010動物感謝デー in JAPAN）
- (8) 動物の福祉の増進及び適正管理の推進並びに動物愛護精神の高揚等関係
ア 動物適正管理個体識別登録等推進事業
イ 日本獣医師会日本動物児童文学賞事業
ウ 日本獣医師会動物愛護週間行事褒賞事業
- (9) 日本獣医師会獣医師福祉共済事業
ア 生命共済事業
イ 獣医師賠償共済事業

2 地方獣医師会・日本獣医師会照会事項（配布資料の説明）

- (1) 狂犬病予防法施行規則の一部を改正する省令につ

いて

徳島県獣医師会

- (2) 各地方獣医師会の学術誌・会報等の発刊について

山口県獣医師会

- (3) 公益法人制度改革への対応状況について

日本獣医師会

- (4) 動物適正管理個体識別登録推進事業に係る地方会アンケート

日本獣医師会

- (5) 学校動物飼育支援事業に係る地方会アンケート

日本獣医師会

3 公益認定申請実務研修

研修テーマ：地方獣医師会が公益認定申請を行うに当たり留意すべき事項

講 師：水田健次（公益社団法人 新潟県獣医師会専務理事）
細井戸大成（公益社団法人 大阪市獣医師会副会長）

V 概 要：

【開 会】

日本獣医師会事務局の司会で、次のとおり会議が進められた。

【開会の挨拶】

山根会長から、次のとおり挨拶が行われた。

本日の会議に全国からご参集いただき厚くお礼申しあげます。

60数年前、私が幼少のころ、6、7月の梅雨の時期といえば、しとしと雨が降り蓑笠をつけたお百姓さんが霞みの中で仕事をしている風景を思い出すが、今は、豪雨による土砂崩れ、浸水等大きな被害を出すという状況である。これは現在の政治の情勢と良く似ている。日本獣医師会、55の地方獣医師会の会員はそのようなことのないようしっかり歩みを進めていると確信している。地方獣医師会会長は事務の詳細なところまで理解するのは難しく、事務局の手腕にかかっていると思われるが、ここにご出席の有能な事務の専門家を擁する獣医師会は安泰と考えている。宮崎県の口蹄疫については、27万頭の牛と豚が殺処分されるという事態となったが、ようやく終息を迎えるものと思われ、改めて関係者の努力に厚くお礼申し上げたい。一方、公益認定申請は、大変な作業となるが、粛々と対応を進めていきたい。今般、新潟県

獣医師会、大阪市獣医師会が認可を取得したが、県獣医師会と市獣医師会というタイプの異なった獣医師会が認定を受けたことで、これから申請される獣医師会の参考になるものと思われる。今日1日が実りのある会議となることを願いたい。

【議 事】

1 日本獣医師会説明事項

大森専務理事から、①平成22年度事業計画、②「日本獣医師会・獣医師会活動指針」の制定、③宮崎県下における口蹄疫発生対応等、について報告された後、事務局から、④獣医学術学会事業関係として、今後における学会組織及び事業運営のあり方、獣医学術学会年次大会・同地区学会の開催予定について、⑤獣医学術講習会研修会事業として、本年度は例年の3分野の講習会に替え、獣医療提供体制整備推進総合対策事業に係る3研修会の実施依頼について、⑥日本獣医師会獣医師生涯研修事業として、これまでの申告者数、実績証明書・修了証・認定証交付者数について、⑦獣医事動物福祉愛護等普及啓発事業（2010動物感謝デー in JAPAN）として、開催概要、協賛金協力、イベントへの参加協力等について、⑧動物の福祉の増進及び適正管理の推進並びに動物愛護精神の高揚等関係として、動物適正管理個体識別登録等推進事業、日本獣医師会日本動物児童文学賞事業、日本獣医師会動物愛護週間行事褒賞事業について、⑨日本獣医師会獣医師福祉共済事業として、生命共済事業、獣医師賠償共済事業（獣医師賠償責任保険、狂犬病予防注射事業賠償契約）の加入率、支払状況について概要が説明された。

2 地方獣医師会・日本獣医師会照会事項（配布資料の説明）

事務局から、「照会事項」として、①狂犬病予防法施行規則の一部を改正する省令について（徳島県獣医師会）、②各地方獣医師会の学術誌・会報等の発刊について（山口県獣医師会）、③公益法人制度改革への対応状況について（日本獣医師会）、④動物適正管理個体識別登録推進事業に係る地方会アンケート（日本獣医師会）、学校動物飼育支援事業に係る地方会アンケート（日本獣医師会）に対する地方獣医師会の回答及びその取りまとめ資料が示された後、各県の状況を参考にして、事業推進に役立てていただきたい旨が説明された。

3 公益認定申請実務研修

テーマ「地方獣医師会が公益認定申請を行うに当たり留意すべき事項」

(1) 新潟県獣医師会 水専務理事から、資料「新潟県獣医師会公益社団法人移行認定申請書」の内容に沿って、次のとおり説明がなされた。

ア 新潟県獣医師会の概要

7支部、3部会、会員447名（一般421名、功労26名）等

イ 申請前の環境整備

理事会、支部長会等関係会議での説明等、制度設計等のため公益社団法人推進委員会の設置、新新会計に基づく計算書作成のため収支の伴う事業の整理及び支部3部会を連結のため申請時補正予算作成、遊休財産対応として入会拠出金の返還、畜産関係団体へ出資金の処理、公益目的事業（不特定多数事業）として公開講座を推進等

ウ 新定款の作成

内閣府、公益法人協会のモデル定款をベースに、一般法人法、公益法人法と照合、県主幹課へチェック、修正を依頼し（役員を選任について指摘され、推薦のみから、立候補を加えた規程に変更する等、第8案まで作成）、通常総会で議決（申請書類には定款変更議決時の議事録を添付）

エ 本部、支部、部会の位置づけ

支部活動を阻害しないよう連結し、支部の講習会、研修会は本部で源泉処理。なお、今年から年2回前期と後期に分け、支部から証憑等をもらい会計処理等

オ 新定款の事業と公益目的事業の関係

申請事項は記載する公益目的事業（基本的に不特定多数のため行う事業）を3つに絞り、狂犬病予防注射事業等は本部が制度管理を行う旨の明確化、ホームページでの事業の公開、事業での謝金等は申し合わせから内規作成

カ 移行認定申請書の公益目的事業記載時の留意点、計算書作成の留意点等

支出は公益目的事業で説明した内容に限定、計画書と計算書の相互に留意し申請書類の作成。なお、総会は年1回としたため、予算は前年決算をベースに基準を参考に3月31日までに公示する（支部を連結する場合、補正を組む）。

以上についての質疑応答として、

- ①申請書類にオンライン送付との記載があるが、登記関係書類等はどのように提出したか、また、原本が必要か。
- ②役員候補者選任規程の変更では、立候補者は推薦人を必要とするのか。
- ③本県当局は、頭割りの会費は認められるが、事業ごとに会費を徴収することは、理解を得にくいとの見解であった。会費でなく、事業収入とすると、狂犬病予防事業の中での使用に制約されるのではないか。
- ④支部・部会の会費の計上方法はどのようにすべきか。
- ⑤総会で公益認定法人への移行を議決されているが、認定申請の総会で定款変更案の議決をもって移行の議決とはならないか。

⑥支部によって、会費等が異なるが、連結した場合、それらを個々に総会で議決する必要があるのか。また、支部における管理費等はどのように考えるのか。
等の質疑があり、これに対して、水卜専務理事から次のとおり説明された。

- ①については、スキャニングし、オンライン送付した。なお、登記、税務関係証明書、議事録もコピーで良い。
 - ②については、職域代表、部会代表からの推薦だけでなく、議決権を有する者が立候補できるようにしたが、推薦人を必要とはしていない。
 - ③これは公益目的事業を行うためには会費が必要という考え方を明確な根拠とし、事業割会費として、総会で議決した。申請時に、公益目的事業の内容に、定期集合注射、個別注射の料金とその税務処理等の方法の記載を指導されたが、この金額には基準もなく、特に指導もなかったことから、金銭の流れを明確に記載すれば問題はないものと思われる。
 - ④新新会計基準に従い、支部・部会会計という項目を設け、予算に記載している。連結すると支部交付金等とはなくなり、内部移動となる。連結しない場合は、事業の業務委託するような形でしか交付金は支出できないものと思われる。
 - ⑤については、総会の議決事項である事業計画書の中で、委員会の設置、公益会計基準への移行を記載しており、個別議案として議決はしていない。日本獣医師会事務局から、公認会計士からは、総会での議決が法的要件ではないが、公益法人として、そのような経過を踏むと良い旨指導を受けている。
 - ⑥については、支部・部会を連結しても、会費は支部・部会の議決した内容の報告を受けるだけで本部はその額を総会で議決しない。また、支部であっても公益事業費以外は支部の管理費となる。
- (2) 大阪市獣医師会 細井戸副会長から、公益認定への過程について次のとおり説明がなされた。

ア 大阪市獣医師会の概要

6支部1部会、正会員117名（開業104名、勤務13名、過去地域により入会のハードル高く会員の分布は偏在）

イ 申請前の環境整備

平成19年度以前：狂犬病予防協会の解散（平成16年5月）、特別会計の処理（協会入会金分の返還）、本会計へ狂犬病予防事業（鑑札、済票発行業務）を算入、委託手数料は全額、獣医師会会計へ算入、集合注射・病院内注射料金の統一、狂犬病事業出務は日当制度（7万円）、会費の変更（6.5万円+5万円から3万円に減額）、事務局の移転（平成17年）、外部監事の任命

ウ 申請前の環境整備

平成20年度以降：研修会継続（会員への問題提起）、入会促進の継続（入会ハードルの見直しの後、指導により法人会計としての財政基盤強化として、23年度から会員の増額）、新入会員への会務参加促進（入会時案内に、総会・講習会・動物愛護フェスティバルへの参加を依頼）、狂犬病予防事業関連の研修会の実施（毎年2月末）、臨時総会開催（モデル定款を参考に定款を作成、平成20年11月変更）、役員・事務局員の各種公益法人関係講習会への参加

エ 申請時の実際

重要事項：会長・役員の強い意志、会員の理解、動物愛護関係グループ等担当部署と綿密な打ち合わせ、法務官からのアドバイス（担当者との頻回打合せ）、収支相償（狂犬病予防注射事業等特に収入を伴う事業、申請書類作成時点で合わない部分を微調整）の対応、事業をまとめる事由の明確な説明（収支相償が容易となる。一方、狂犬病予防注射事業は狂犬病予防法に基づく地域防疫業務であり、病院内注射により市民の理解の増進に寄与。また動物愛護、野生鳥獣関係事業は、獣医師に関連する法律に基づき獣医師会が主体となって実施していることを明確化する。併せて自治体の代わりにすべき理由を示す。）

オ 懸案事項への対応

会員への丁寧な説明と同意を得ること、現状維持に近い状態で認定可能であることの説明（共益的部分が少なければ理解は得やすい）、認定書類へ記載すれば会計の問題点が浮かぶ、獣医師会事業のほとんどが公益目的事業になる旨明確に説明する、支部と本部の連結決算後も、大きく変わらないことを会員の理解を得る、獣医師会は、公益認定を受けやすい組織と考える。

以上についての質疑応答として、

- ①学会・大会は公益活動とはならないのか、また積立金はどのように考えるのか。
- ②会館設立のための積立金があるが、これは処理すべきか
- ③収支予算書の公益1の事業収益が4,700万に係る租税公課が200万が計上されているが、これは消費税か。
との質疑があり、これに対して細井戸副会長から、次のとおり説明された。
- ①については、学会等は、公益3の「獣医師等従事者に対する教育研修事業」で読み取れる。日本獣医師会の助成事業、地区学会、自前の講習会等、すべて該当する。大会では、「人の犬猫における回虫症」のセミナーを実施することで、公1「狂犬病等の人と動物共通感染症対策及びそれらの知識の普及・啓発に関する事業」に位置付けた。自己の財産を公益目的業のために使うなら問題はない。なお、本会は、すべては単年度

決算で行ってきており、大会のための積立はここ数年行っていない。

②については、当会では昭和40年代後半から50年代、狂犬病協力会の入会のハードルをあげるため、会費を高額にして積み立ててきたが、公益申請の前にこれを処理することとして、総会の議決を経て、協力会を解散し、会員へ積立金を分配返金し、税理処理を行った。積み立てた財産で設立する獣医師会館が、セミナ

一室、夜間診療施設等の公共的な目的として利用するのであれば良いものと思われる。詳細は公認会計士に相談すると良い。

③については、消費税のみである。申請前は事業税を別途支払っていたが、税務上の整理を行い、計上した。これらは法務官の数字のチェックに対し明確に説明できるように留意する必要がある。